

質問事項		記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について		
1	<p>好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかとなっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>企業は、好調な業績推移を反映して一定の賃上げは実施している。ただし、少子高齢化、人口減少が間違いなく長期的経済環境の下では、高度成長期のような高い水準の賃上げは難しい。一方で、労働規制の強化や働き方改革により、残業は減少せざるを得ず、結果として給与総額は伸び悩んでいる。今後、製品・サービス価格のアップや、生産性の向上が実現できれば、経済の好循環が実現し、更なる賃金上昇も可能になると思うが、少子高齢化でマーケットが縮小し、企業間競争が熾烈な中では、価格アップも容易にはできない環境にある。また、生産性向上についても、AIやIoT等による生産性向上が期待されているが、実現までにはまだまだ時間がかかる。特に、サービス業における生産性向上は簡単ではない。政府は、企業の賃金政策への直接的な介入ではなく、人口減少への歯止め、社会保障政策の安定性等の道筋を明確にして、企業や国民が持っている将来不安を解消することが、企業の賃金政策、国民の消費行動を変化させ、好循環を実現する近道ではないだろうか。</p>
2	<p>好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	